

事業名：公共街路灯新設更新等事業

【事業番号 241】  
土木事務所道路管理課維持係

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	昭和42年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内幹線道路等 延長 約99km  
(令和2年度に指標を幹線道路延長に変更)

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内幹線道路等	Km	187.38	187.38	99	3,470
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

道路ストック総点検事業により、平成25年、26年に公共街路灯を点検し、その診断判定結果に基づき計画的に更新工事を実施する。  
社会資本整備総合交付金を活用し実施する。(補助率：6/10)

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	更新灯数	基	86	63	27	30
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

公共街路灯の更新により、その機能の維持・向上と、夜間における道路環境の向上が図られる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	公共街路灯数	基	3,382	3,488	3,470	100
成果指標 2	街路灯点検結果による更新が必要な灯数	基	398	398	196	0

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	52,304	55,316	72,523	35,000
正職員人件費(B)		千円	6,102	3,075	3,052	1,520
総事業費(A+B)		千円	58,406	58,391	75,575	36,520

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	2巡目の道路照明設備点検を行い、点検の結果に基づき公共街路灯の更新工事を実施した。	公共街路灯点検委託	49,720 千円
		公共街路灯更新工事	22,803 千円

<b>事業開始背景</b>	
街路灯の老朽化に伴う更新のため事業が開始された。	
<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
道路法第2条第2項に規定される道路附属物として一元的な管理を行うため、平成26年度より土木事務所道路管理課に事務移管を行なった。	

<b>令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>平成25～26年に実施した道路照明設備点検の結果に基づき、これまで計画的に公共街路灯の更新を実施してきたもの。令和2年度には2巡目の点検を行い、この点検結果に基づき、今後も計画的に公共街路灯の更新を実施していく。</p>
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>これまで社会資本整備総合交付金（補助率：6/10）を活用し事業を実施してきており、今後も同交付金を活用することにより計画的な事業進捗が図られるため。</p>
コスト	<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>これまで国の社会資本整備総合交付金（補助率：6/10）を活用し事業を実施してきており、これ以上のコスト削減は難しい。</p>

事業名：空家等対策推進事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	01 安全な暮らしの確保			具体的施策					
開始年度	平成30年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全域の空き家

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内全域の空き家（推計）	棟	300	300	300	300
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、所有者等の管理意識の醸成と関係団体との連携による発生抑制及び利活用の推進を図るとともに、空き家等対策の情報発信や相談体制の整備を行うほか、「江別市特定空家等解体補助金交付要綱」に基づき、特定空家等の除却・解体支援を行う。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	空き家に関する相談・指導件数	件	159	83	94	86
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

危険空き家等への対応及び空き家等の利活用により、安全で安心な住環境を確保する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	管理不全な空き家の解消件数	件	14	35	9	8
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	203	872	3	1,784
正職員人件費 (B)		千円	16,017	9,224	14,495	19,005
総事業費 (A+B)		千円	16,220	10,096	14,498	20,789

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>空家等対策協議会の運営</li> <li>啓発パンフレットの作成等</li> <li>危険空き家等への応急対応</li> <li>特定空家等の除却・解体支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>啓発パンフレット作成経費等：3千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

空き家等がもたらす課題の解消に向け、空家等対策計画に基づき、発生抑制・適正管理の推進、特定空家等への対応、利活用の推進などの空き家等対策を総合的かつ計画的に実施する

**事業を取り巻く環境変化**

近年、人口減少や少子高齢化による家族構成の変化、住宅ストックの余剰等の社会情勢の変化等により、全国的に空き家等が年々増加している。

**令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由根拠
	<p>江別市空家等対策計画（平成30年3月策定）に基づいて、空き家等対策を推進している。</p>	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由根拠
	<p>空き家等の管理意識の醸成を図り、関係団体等との連携を着実に進めることで、適正管理の推進や特定空家等への対応、利活用の推進などの空き家等への対策を進める。</p>	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠
	<p>予算措置は、空家等対策協議会運営費、危険空家等への応急対応資材費、特定空家等解体補助金等であるため、予算削減は難しい。</p>	

事業名：河川等維持事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	昭和57年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市が管理する河川及び調整池

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	準用河川及び普通河川数	河川	25	25	25	25
対象指標 2	調整池数	ヶ所	27	27	27	27

手段（事務事業の内容、手法）

江別市が管理する河川及び調整池において発生した不良箇所を解消するための工事等を行う。  
 1) 法面補修工事、浚渫工事  
 2) 管理用道路補修工事  
 3) 調整池における防護柵補修など

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	河川・調整池の補修等工事件数	件数	3	10	8	7
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

河川や調整池が、本来発揮すべき機能を維持する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	河川・調整池の不良箇所数	件数	3	10	8	7
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	7,933	7,622	9,805	30,078
正職員人件費 (B)		千円	2,288	2,306	7,629	7,602
総事業費 (A+B)		千円	10,221	9,928	17,434	37,680

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	浚渫工事の実施 調整池フェンス改修工事の実施	河川等床ざらい工事（原の沢川、明野川、屯田川、登満別川、中樹林集水路、新中樹林導水路） 3,498千円	調整池フェンス設置工事（上江別1号調整池、中央2号調整池） 1,837千円

<b>事業開始背景</b>
床ざらい等により河川・集水路の流下能力を確保し、大雨などによる河川等の氾濫を防ぐ。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
近年、気候変動により増大する降雨等に対応するため、より適切な河川管理が求められている。

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>概ね予定とおり進捗している。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>令和2年度から新設された緊急浚渫推進事業（起債事業）を活用により、成果向上余地は大きい。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>近年、労務単価が上昇している傾向であり、コスト削減させて成果向上は見込めない。 また、既に緊急浚渫推進事業（起債事業）を活用しており、これ以上一般財源を抑えることは困難。</p>

事業名：排水機場維持管理事業

土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

排水機場

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	排水機場数	箇所	18	18	18	18
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市内排水機場等の点検整備・点検操作を委託で実施する事により、災害に備えた施設・設備の維持管理を行う。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	維持管理経費	千円	67,855	61,751	65,795	67,778
活動指標 2	施設巡回・点検回数	回	9	9	9	9

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設・設備を適切に管理し、緊急時に対応できる機能を維持する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	不具合件数	件	0	0	0	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	67,855	61,751	65,795	67,778
正職員人件費 (B)		千円	4,576	4,612	6,103	6,082
総事業費 (A+B)		千円	72,431	66,363	71,898	73,860

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	市内排水機場（18 機場）の点検整備・維持修繕 緊急運転	市内排水機場管理委託	5 1, 7 4 4 千円
		市内排水機場自家用電気工作物点検	9 6 2 千円
		市内排水機場緊急排水運転費	1, 9 6 9 千円
		市内排水機場燃料費	5 0 6 千円
		市内排水機場光熱水費	4, 6 5 2 千円
		市内排水機場施設等修繕費	2, 3 2 7 千円

**事業開始背景**

大雨時に要する内水排除施設（排水機場）の維持管理。

**事業を取り巻く環境変化**

近年、気候変動により増大する降雨等に対応するため、適切な内水排除施設（排水機場、集水路）の維持管理が求められているが、老朽化による修繕費の増大が見込まれている。

**令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p><b>どちらかといえば上がっている</b></p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>点検により予防保全を行っており、概ね予定とおり進捗している。</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p><b>成果向上余地 中</b></p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>施設の老朽化が著しく現状の予算では今以上の成果を上げることは難しい。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？		
コスト	<p>ある</p> <p><b>なし</b></p>	<p>理由根拠</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既に最低限のコストで施設の維持管理を行っている。</li> <li>・今後、老朽化が更に進み修繕費が増大することが予想される。</li> </ul>

事業名：江別河川防災ステーション管理経費 土木事務所治水課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	平成14年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別河川防災ステーション

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

江別河川防災ステーションの維持・管理を行う。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	開設日数	日	306	307	307	308
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設を適切に管理運営することで、災害時に防災拠点として利用できるようにする。また、平常時には利用者が快適に利用できるとともに、水害への防災意識の向上を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	不具合件数	件数	0	1	0	1
成果指標 2	利用者数	人	78,971	86,641	74,405	80,000

事業費の推移	単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)	千円	20,365	21,830	21,759	22,922
正職員人件費 (B)	千円	3,814	3,844	4,577	4,561
総事業費 (A+B)	千円	24,179	25,674	26,336	27,483

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	江別河川防災ステーションの維持管理	館内管理業務	13,505千円
		燃料費	1,076千円
		光熱水費	3,458千円
		施設等修繕費	350千円

<b>事業開始背景</b>
水防活動の拠点及び平時には防災意識向上を目的として建設した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
平成16年度からは、各種イベントが開催され平時の利活用が進んでいる。

<b>令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）</b>				
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？				
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p style="background-color: black; color: white; text-align: center;">上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>来客数は、コロナウイルスの影響で計画より減少した。</p> </td> </tr> </table>	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p style="background-color: black; color: white; text-align: center;">上がっていない</p>	理由根拠	<p>来客数は、コロナウイルスの影響で計画より減少した。</p>
<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p style="background-color: black; color: white; text-align: center;">上がっていない</p>	理由根拠	<p>来客数は、コロナウイルスの影響で計画より減少した。</p>		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>成果向上余地 大</p> <p style="background-color: black; color: white; text-align: center;">成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>既に一定数の利用者があり、施設規模や地理的条件などから冬期間の集客を考慮すると、更なる成果向上は難しい。</p> </td> </tr> </table>	<p>成果向上余地 大</p> <p style="background-color: black; color: white; text-align: center;">成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>既に一定数の利用者があり、施設規模や地理的条件などから冬期間の集客を考慮すると、更なる成果向上は難しい。</p>
<p>成果向上余地 大</p> <p style="background-color: black; color: white; text-align: center;">成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>既に一定数の利用者があり、施設規模や地理的条件などから冬期間の集客を考慮すると、更なる成果向上は難しい。</p>		
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white; text-align: center;">なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既に最低限のコストで施設運営している。</li> <li>・施設の老朽化が進んできていることから、今後、修繕等のコスト増が予想される。</li> </ul> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white; text-align: center;">なし</p>	理由根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に最低限のコストで施設運営している。</li> <li>・施設の老朽化が進んできていることから、今後、修繕等のコスト増が予想される。</li> </ul>
<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white; text-align: center;">なし</p>	理由根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既に最低限のコストで施設運営している。</li> <li>・施設の老朽化が進んできていることから、今後、修繕等のコスト増が予想される。</li> </ul>		

事業名：耐震化推進支援事業

建築指導課

政策	04 安全・安心			戦略					
取組の基本方針	02 地域防災力の向上			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	政策的補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

江別市耐震改修促進計画に基づく民間住宅の所有者及び、居住者又は居住予定者

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	対象建築物数	戸	4,656	4,656	4,656	4,656
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

同計画に基づき耐震化を促進するために木造住宅等の無料簡易耐震診断を実施する他、「江別市木造住宅耐震改修等補助金交付に関する要綱」により専門家が行う耐震診断、補強設計及び耐震改修工事の費用の一部を補助する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	60	920	0	2,289
活動指標 2	無料耐震診断を行った件数	件	9	1	1	10

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

現行の耐震基準に満たない既存建築物の耐震性能の向上を図り、地震による建築物の倒壊被害から市民の生命及び財産に対する被害を未然に防止する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	補助利用率	%	2.62	40.19	0	100
成果指標 2	補助金を受けた件数	件	1	2	0	9

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	69	942	17	2,308
正職員人件費 (B)		千円	6,864	7,687	18,310	10,643
総事業費 (A+B)		千円	6,933	8,629	18,327	12,951

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料簡易耐震診断</li> <li>・支援制度のPR等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規耐震パンフレットの製作・印刷 17千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

江別市耐震改修促進計画に基づき、建築物の耐震化を促進するため、対象市民を支援する。

**事業を取り巻く環境変化**

・北海道において進めていた、地震・津波にともなう詳細な被害想定調査である「平成28年度地震被害想定調査結果」が、平成30年2月に公表され、江別市内の調査データが提供された。  
 ・北海道の「既存住宅耐震改修事業補助金交付要綱」が改正され、補助制度の拡充が図られた。

**令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	補助制度の利用は無かったが、老朽化した住宅の除却や住宅の建築が進んでいることから成果が上がっている。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	補助制度メニューの拡大と、それぞれの補助金額の上限がアップされたことの更なる周知により、成果の向上が見込まれる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	国や道の交付金を活用し事業を実施しており、これ以上の削減は難しい。
	なし		

事業名：新栄団地建替事業

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成22年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部）

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	296	340	268	281
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

新栄団地、野幌団地及びあけぼの団地の一部を新栄団地に建替・集約する。  
 新栄団地建替の設計、工事、既存住宅の用途廃止等を実施する。  
 R2～R3 E棟建設，R4～R5 F棟建設

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	建設戸数	戸	0	48	0	49
活動指標 2	除却戸数	戸	32	4	72	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化し、狭隘な住宅を建て替えることにより、入居者が安全に安心して暮らせるようにする。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	団地改善率	%	48.6	56.4	71.6	85.8
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	360,006	912,293	466,341	932,677
正職員人件費 (B)		千円	6,864	6,918	6,866	7,602
総事業費 (A+B)		千円	366,870	919,211	473,207	940,279

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>新栄団地E棟建設工事（建築工事・各種工事） 【R2～R3継続事業】</li> <li>既存建物除却工事 新栄団地・野幌団地</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新栄団地E棟建設工事 335,874千円</li> <li>既存建物除却工事 新栄団地 35,279千円 野幌団地 95,044千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
良質な市営住宅の供給を図るため、「江別市営住宅長寿命化計画」を策定し、市営住宅の建替事業を推進することとした。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
計画通りに市営住宅の建替事業を実施している。

令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）				
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？			
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p style="background-color: black; color: white; margin: 0;">上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>新栄団地の建替が進むことで、団地改善率が向上し、市民の安全で安心な生活が保たれる。</p> </td> </tr> </table>	<p style="background-color: black; color: white; margin: 0;">上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>新栄団地の建替が進むことで、団地改善率が向上し、市民の安全で安心な生活が保たれる。</p>
	<p style="background-color: black; color: white; margin: 0;">上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠	<p>新栄団地の建替が進むことで、団地改善率が向上し、市民の安全で安心な生活が保たれる。</p>	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？				
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p style="background-color: black; color: white; margin: 0;">成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>今後も計画に基づき事業を進めることで、成果がより向上する。</p> </td> </tr> </table>	<p style="background-color: black; color: white; margin: 0;">成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>今後も計画に基づき事業を進めることで、成果がより向上する。</p>
	<p style="background-color: black; color: white; margin: 0;">成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠	<p>今後も計画に基づき事業を進めることで、成果がより向上する。</p>	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？				
コスト	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; padding: 5px;"> <p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white; margin: 0;">なし</p> </td> <td style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">理由根拠</td> <td style="width: 60%; padding: 5px;"> <p>計画段階から実施段階に移行し、建設コストはかかるが、効率的・効果的な建設手法等を検討し、必要最小限となるよう努めている。</p> </td> </tr> </table>	<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white; margin: 0;">なし</p>	理由根拠	<p>計画段階から実施段階に移行し、建設コストはかかるが、効率的・効果的な建設手法等を検討し、必要最小限となるよう努めている。</p>
	<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white; margin: 0;">なし</p>	理由根拠	<p>計画段階から実施段階に移行し、建設コストはかかるが、効率的・効果的な建設手法等を検討し、必要最小限となるよう努めている。</p>	

事業名：公園管理事業

【事業番号 314】  
都市建設課 公園係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市が管理する都市公園数	箇所	230	230	232	232
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・公園の清掃や草刈等の維持管理及び管理運営を行う。
- ・屋外体育施設の維持管理を指定管理者に委任する。
- ・公園施設長寿命化計画に基づき、遊具等の改築を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	指定管理料（R2・R3は市管理経費を含む）	千円	154,259	155,279	172,943	183,026
活動指標 2	改築遊具・施設数	施設	6	7	7	15

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

施設の維持管理・管理運営を適切かつ効率的に行い、市民が快適で安全に憩える公園とする。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	自主事案件数（指定管理者）	件	16	17	5	5
成果指標 2	累計改築遊具・施設数	施設	12	19	26	41

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費(A)		千円	286,564	270,298	374,062	401,769
正職員人件費(B)		千円	22,500	24,214	24,032	23,946
総事業費(A+B)		千円	309,064	294,512	398,094	425,715

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園草刈や清掃等の維持管理業務</li> <li>・指定管理者による屋外体育施設の管理運営</li> <li>・公園施設長寿命化計画に基づく遊具等の改築及び修繕</li> <li>・アダプトプログラム</li> <li>・樹木管理（剪定、伐採等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・維持補修関係委託料</li> <li>・指定管理料</li> <li>・改築関係工事費</li> <li>・維持補修関係工事費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>140,807千円</li> <li>18,378千円</li> <li>159,409千円</li> <li>9,490千円</li> </ul>

事業開始背景	
市が管理する都市公園の維持管理業務については、平成20年度より指定管理者制度を導入し、市民サービスの向上や管理経費の縮減を図っている。	
事業を取り巻く環境変化	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市及び指定管理者は公園施設の安全対策を重点的に行っているが、その反面、公園管理に関する市民要望は年々多様化してきている。厳しい財政状況の下、市民のニーズに応えることが難しい状況となっている。</li> <li>・今後は遊具等の公園施設の改築・更新については、公園施設長寿命化計画に基づく、国の補助事業導入が可能になる。</li> </ul>	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>指定管理者制度導入により、公園管理業務の成果が徐々に表れている。また、平成27年度より公園施設長寿命化計画に基づいた施設改築を進めている。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>コストの増加が見込まれるが、老朽化した遊具・施設の改築数を増加することにより、公園利用の促進や公園利用環境の向上が図られる。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>効率的な維持管理を実施しており、更なるコスト削減は難しい。</p>

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成15年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する都市公園

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市が管理する都市公園数	箇所	230	230	232	232
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

- ・公園施設長寿命化計画に基づき、公園の再整備を国の補助を受けて実施する。（補助率：1/2）
- ・整備内容については地域の子供達や自治会の参加によるワークショップ会議等により計画する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	再整備公園数	箇所	1	1	1	1
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・市民協働のシンボルとして地域に親しまれる公園にする。
- ・公園再整備に併せて、公園施設のバリアフリー化を図ることで、誰もが利用しやすい公園にする。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	累計再整備公園数	箇所	15	16	17	18
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	55,109	40,209	44,851	49,422
正職員人件費 (B)		千円	6,102	6,150	6,103	6,082
総事業費 (A+B)		千円	61,211	46,359	50,954	55,504

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆりのき公園再整備工事（野幌住吉町） 面積：約0.25ha 内容：遊具更新、バリアフリー化等</li> <li>・公園再整備に向けたワークショップ等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備工事費 40,999千円</li> <li>・一般委託料 3,852千円</li> </ul>	

事業開始背景	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域からの修繕要望が高く、通常の維持管理だけでは対応できない身近な公園を対象として、平成2年度から「子供たちが参加できる公園づくり事業」として、事業着手した。</li> <li>・平成15年度から「市民参加による公園づくり事業」として、事業を継続中である。</li> </ul>	
事業を取り巻く環境変化	
<p>今までは市単独費により事業を実施していたが、平成25年度に策定する「公園施設長寿命化計画」に基づき、平成26年度以降、社会資本整備交付金事業「都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業」として国の補助を受けて実施することができる。なお、今まで行っていたワークショップ会議は継続して実施する。</p>	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>年に1公園であるが、利用者が多い身近な公園を対象に行っている。</p>
	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>コストの増加が見込まれるが、1年あたりの再整備公園数を増加し、老朽化した公園のリニューアルを促進することにより、公園利用の促進や利用環境の向上が図られる。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>既存施設の利活用や、国の補助事業を活用するなど、コストの低減を図ってきており、更なるコストの削減は難しい。</p>

事業名：町名板再整備事業

【事業番号 323】

開発指導課 開発指導係

政策	05 都市基盤			戦略				
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策				
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民  
・来訪者

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市民	人	118,971	119,510	119,883	119,883
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

1. 市街化区域内の角地や町名界にある建物に所有者の同意を得た後、街区型町名板を貼付  
2. 江別の顔づくり事業により新たに整備された交差点に信号機型町名板を整備

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	街区型町名板整備数	枚	201	345	71	87
活動指標 2	信号機型町名板整備数	ヶ所	0	1	1	1

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市民及び市外来訪者等に町名や地番をわかりやすい状態にする

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	所在確認の問い合わせ件数	件	3	0	0	2
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	1,662	1,646	1,021	1,217
正職員人件費 (B)		千円	3,814	3,844	5,340	5,321
総事業費 (A+B)		千円	5,476	5,490	6,361	6,538

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	1. 街区町名板 ～住民及び来訪者の利便性を図る ・市民要望による街区町名板の貼付 ・未貼付個所等現況調査及び意向確認、貼付 2. 信号機型町名板 ～住民及び来訪者の利便性を図る ・信号機型町名板の整備	・街区型町名板整備費 ・信号機型町名板整備費	337千円 684千円

**事業開始背景**

町名板の老朽化が著しく、市民や来訪者の利便性の向上を図る必要が生じたため。

**事業を取り巻く環境変化**

信号機型町名板の整備は計画通り進み、現在、整備を完了した。しかし、信号機型町名板の設置から相当期間が経過したものがあるため、点検を行い、道路利用者の安全を確保する必要が生じた。  
今年度は、過年度に設置済の文字が薄れて機能が低下している2番通り、8丁目の信号機型町名板を整備するため、信号機型町名板等の点検は実施しない。

**令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？

成果動向及び原因分析	上がっている	理由根拠	道案内の問い合わせ件数が減少しているため。
	どちらかといえば上がっている		
	上がっていない		

(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠	現在、年次計画に基づき整備を進めているため、今度の整備により成果が上がる事が期待できる。
	成果向上余地 中		
	成果向上余地 小		

(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？

コスト	ある	理由根拠	平成24年以降、費用対効果を検証した、より耐久性のある材料を採用し、コストの削減を図っているため。
	なし		

事業名：団地集会所維持管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

団地集会所

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	施設数	箇所	5	5	5	5
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

団地集会所の維持・管理

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	利用可能日数	日	308	308	307	308
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

集会所利用者が安心して利用できる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	集会所使用件数	件	527	369	104	200
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	2,888	2,820	2,693	2,928
正職員人件費 (B)		千円	763	769	763	760
総事業費 (A+B)		千円	3,651	3,589	3,456	3,688

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	団地集会所の維持管理	・集会所管理人報酬	1,800千円
		・集会所燃料費	69千円
		・集会所光熱水費	525千円

<b>事業開始背景</b>
<p>江別市営住宅入居者の共同の福祉のために整備した集会所の適正な管理を図る。</p>
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
<p>入居者相互の親睦の場として使用されている。 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、カラオケなど一部の使用を制限した。</p>

<b>令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）</b>		
<b>成果動向及び原因分析</b>	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p style="background-color: black; color: white;">上がっていない</p>	<p>理由 根拠</p> 
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
<b>成果向上余地</b>	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p style="background-color: black; color: white;">成果向上余地 小</p>	<p>理由 根拠</p> 
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
<b>コスト</b>	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p style="background-color: black; color: white;">なし</p>	<p>理由 根拠</p> 
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
<p>築年数の経過している集会所が多く、必要最小限の費用で行っている。</p>		

事業名：市営住宅管理経費

建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅入居者

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市営住宅入居戸数	戸	949	940	919	1,000
対象指標 2	市営住宅入居者数	人	1,873	1,802	1,735	2,000

手段（事務事業の内容、手法）

市営住宅の家賃決定、入居者募集、選考及び決定、家賃及び敷金の徴収、徴収猶予及び減免、模様替え等の承認、明け渡し請求などの処分、入居相談、世帯人数と住戸規模のミスマッチ解消の実施。施設の維持保全及び一般修繕。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	維持修繕受付件数	件	556	525	592	550
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

市営住宅が適切に管理され、入居者が快適に生活できる（政策空家を除く）。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	入居率	%	80.7	79	77.4	84
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	51,124	51,066	51,791	54,837
正職員人件費 (B)		千円	12,203	13,068	12,969	13,684
総事業費 (A+B)		千円	63,327	64,134	64,760	68,521

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の小規模修繕</li> <li>住宅設備の保守点検</li> <li>家賃の決定及び徴収・滞納整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の修繕費 18,999千円</li> <li>保守点検等の委託費 14,761千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的として整備した市営住宅の適正な管理を図る。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
老朽化した住宅が多く、適正な維持管理を図る必要がある。

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	上がっている	理由根拠
	どちらかといえば上がっている	
上がっていない		
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大	理由根拠
	成果向上余地 中	
	成果向上余地 小	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある	理由根拠
	なし	

事業名： 弥生団地大規模改善事業

【事業番号 6176】  
建築住宅課 住宅係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	平成25年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市営住宅（弥生団地）

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	223	223	223	223
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市営住宅長寿命化計画に基づき、弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	外部改修戸数	戸	24	24	24	24
活動指標 2	設備改修戸数	戸	24	24	0	48

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

弥生団地の大規模改善工事を計画的に実施することにより、入居者が安全に安心して暮らせる市営住宅を供給する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	団地改善率（改修戸数／延べ改修戸数）	%	44.5	54.1	58.9	73.3
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	111,260	111,602	92,253	183,282
正職員人件費 (B)		千円	763	769	763	760
総事業費 (A+B)		千円	112,023	112,371	93,016	184,042

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・弥生団地F棟外部改修工事（屋根改修、外壁塗装、アルミサッシ化等）	・弥生団地F棟外部改修工事	90,053千円

<b>事業開始背景</b>
良質な市営住宅の供給を図るため、「江別市営住宅長寿命化計画」を策定し、市営住宅の長寿命化を図ることとした。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
計画通りに市営住宅の長寿命化型改善事業を実施している。

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>	
成果動向及び原因分析	<p>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</p> <p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p> <p>理由根拠</p>
	<p>江別市営住宅長寿命化計画に基づき、長寿命化型改善を実施している。</p>
成果向上余地	<p>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</p> <p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p> <p>理由根拠</p>
	<p>江別市営住宅長寿命化計画に基づき、長寿命化型改善事業を実施することにより、成果指標の向上が図られる。</p>
コスト	<p>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありますか？</p> <p>ある</p> <p>なし</p> <p>理由根拠</p>
	<p>長寿命化型改善事業においては、国の補助があるものの、一時的なコストが増大することになるが、住宅建物の長寿命化が図られることにより、長期的なコストの削減が図られる。</p>

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	01 市街地整備の推進			具体的施策					
開始年度	令和元年度	終了年度	令和 2年度	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

**事務事業の目的と成果及び指標**

**対象（誰、何に対して事業を行うのか）**

平成23年度に策定された、「江別市営住宅長寿命化計画」  
計画期間：平成24年度～令和2年度

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市営住宅管理戸数	戸	0	0	1,201	0
対象指標 2						

**手段（事務事業の内容、手法）**

上位計画である江別市総合計画、江別市住生活基本計画、都市計画、福祉計画などの関連計画等の内容を踏まえ「公営住宅等長寿命化計画策定指針」に基づき、現「江別市営住宅長寿命化計画」を見直す。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	委員会等開催回数	回	0	0	4	0
活動指標 2						

**意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）**

団地別・住棟別の修繕や改善、建替などの事業プログラムを定め、市営住宅の効率的かつ円滑な更新を行い、市営住宅の需要に的確に対応する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	計画策定数	件	0	0	1	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	0	0	4,152	0
正職員人件費 (B)		千円	0	0	6,103	0
総事業費 (A+B)		千円	0	0	10,255	0

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	市営住宅長寿命化計画策定業務委託	市営住宅長寿命化計画策定業務委託	4,048千円

<b>事業開始背景</b>
公営住宅の効率的かつ円滑な更新を実現するため、公営住宅の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの縮減につながるよう、「公営住宅等長寿命化計画策定指針」及び「江別市住生活基本計画」に基づき策定する。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
築年数が経過し老朽化が進む公営住宅が多いため、効率的・効果的な管理運営をし、公営住宅の長寿命化を図る。

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<input checked="" type="radio"/> 上がっている <input type="radio"/> どちらかといえば上がっている <input type="radio"/> 上がっていない	<b>理由根拠</b>
	江別市営住宅長寿命化計画（計画期間：令和3年度から令和12年度まで）を策定し、効率的・効果的に公営住宅の長寿命化を実施する。	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<input checked="" type="radio"/> 成果向上余地 大 <input type="radio"/> 成果向上余地 中 <input type="radio"/> 成果向上余地 小	<b>理由根拠</b>
	江別市営住宅長寿命化計画に基づき、長寿命化型改善を実施することにより、成果指標の向上が図られる。	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<input type="radio"/> ある <input checked="" type="radio"/> なし	<b>理由根拠</b>
	江別市営住宅長寿命化計画に基づき、公営住宅の長寿命化を図るために、必要最小限のコストとなるよう計画している。	

事業名：道路景観づくり推進事業

【事業番号 260】

土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市内の道路  
・違反広告物

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市内の国道・道道・市道実延長	km	860	862	864	864
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

・北海道屋外広告物条例に違反するはり紙、はり札及び立看板を除却する。  
・広告主への除却指導（年数回）  
・違反広告物の除却（年数回）  
・石狩振興局へ除却数を報告（年2回）

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	広告主への指導件数	件	2	1	2	2
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路の美観風致の維持、整然とした街並みとなるために違反広告物を放置しづらくなる。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	違反広告物の除却数	枚	237	565	84	100
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	968	683	499	507
正職員人件費 (B)		千円	1,525	1,537	1,526	1,520
総事業費 (A+B)		千円	2,493	2,220	2,025	2,027

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広告主への除却指導</li> <li>・ 違反広告物の除却</li> <li>・ 石狩振興局へ除却枚数を報告</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軍手等の消耗品 13千円</li> <li>・ 広告調査、除却委託経費 486千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

平成17年4月1日より、権限委譲により屋外広告物法に基づく事務を委任されたことからこの事業を開始している。

**事業を取り巻く環境変化**

道路の美観風致を維持するとともに、公衆に対する危害の防止を目的とした。現在、道からの交付金を基に事業を実施している。

**令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>違反広告物の総数が大幅に減少している。 (平成27年度以前の除却数は、1,000枚以上で最大2,444枚)</p>
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>市と市民が協力して除却することにより、違法屋外広告物に対する意識が高まり、原因者が屋外広告物を貼る行為が減少する。</p>
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>違反広告物の減少に伴い、除却作業回数を減らしており、これ以上の削減は困難である。 (H31年度に年10回から年6回へ減少し、コスト縮減を行った。)</p>

事業名：大麻市営駐車場管理経費

【事業番号 270】  
土木事務所道路管理課 管理係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

大麻市営駐車場

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	施設数	施設	1	1	1	1
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

指定管理者制度を活用し、施設利用者へのサービス向上及び施設管理運営の効率化を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	指定管理料	千円	9,997	10,140	10,434	10,434
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

低廉な料金で駐車できる駐車場を確保することにより、駅周辺の路上駐車削減を図る。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	年間延べ利用台数	台	46,613	45,538	27,389	26,000
成果指標 2	苦情件数	件	0	0	0	0

事業費の推移	単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)	千円	9,997	10,438	11,772	10,434
正職員人件費 (B)	千円	2,288	2,306	2,289	2,281
総事業費 (A+B)	千円	12,285	12,744	14,061	12,715

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
2年度	・市営駐車場の運営管理を指定管理者に委託 ・令和元年度に照明灯内部から撤去し保管しているPCB安定器を運搬処理	・指定管理料 10,434千円 ・PCB運搬処理等 1,338千円

事業開始背景	
昭和46年5月12日に新住宅市街地開発法に基づき譲与された駐車場を昭和46年7月15日より利用開始する。昭和53年6月20日に駐車場条例が制定される。その後昭和56年6月30日より有料化の開始。	
事業を取り巻く環境変化	
H18年度より指定管理者制度導入	

令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p><b>どちらかといえば上がっている</b></p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>多くの市民に利用されており、駅周辺の路上駐車も見られないことから、計画通りである。</p>
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p><b>成果向上余地 中</b></p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>指定管理者の対応が良く利用者には好評であるが、駐車スペースに限りがあることから、大幅な利用者増加は見込めない。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p><b>なし</b></p>	<p>理由根拠</p> <p>すでに指定管理者制度を導入し、コスト削減を図っている。</p>

事業名：除排雪事業

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公共除排雪対象の市道及び公共施設等

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	835	835	837	837
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

ほぼ連続した降雪により、降り始めからの降雪量が10cmを超えた場合等で、除雪作業を要すると認められる状況であるほか、断続的な降雪や吹き溜まり等で、交通障害が予想される場合に除雪作業を実施する。  
また、道路幅員の狭窄、路肩の雪堤状況等諸条件から総合的に判断し、運搬排雪作業を行う。  
自治会が主体で実施する排雪作業に対し、ロータリ除雪車（車輛のみ）とダンブトラック（車輛と運転手）を貸与し、排雪作業支援を行う。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	除雪延長	km	732	734	735	735
活動指標 2	自治会排雪延長	km	348	301	349	349

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

冬期間の円滑な道路交通網を確保する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	降雪・吹雪による交通止めとなった箇所数	箇所	0	0	0	0
成果指標 2	実施自治会数	自治会	102	83	104	104

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	1,028,878	925,232	1,181,548	1,334,817
正職員人件費 (B)		千円	22,500	24,214	28,227	27,747
総事業費 (A+B)		千円	1,051,378	949,446	1,209,775	1,362,564

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>除排雪業務</li> <li>自治会排雪実施に係る作業車輛の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>除排雪業務 893,684千円</li> <li>自治会排雪作業車輛の支援 190,971千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
冬期間の安全で円滑な道路交通の確保を目的に事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
人手不足、人件費上昇への対応や、生活道路も含めた排雪の充実が求められている。

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>	
<b>成果動向及び原因分析</b>	<p>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</p> <p>本事業により冬期間の市内交通ネットワークが確保されているほか、生活道路の排雪支援も着実に実施されているため。</p> <p> <input checked="" type="radio"/> 上がっている  <input type="radio"/> どちらかといえば上がっている  <input type="radio"/> 上がっていない </p> <p>理由根拠</p>
<b>成果向上余地</b>	<p>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</p> <p>本事業の拡充のほか、新規宅造区域への導入余地があるため。</p> <p> <input type="radio"/> 成果向上余地 大  <input checked="" type="radio"/> 成果向上余地 中  <input type="radio"/> 成果向上余地 小 </p> <p>理由根拠</p>
<b>コスト</b>	<p>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</p> <p>市民生活を支える最も基礎的な事業であり、現状の体制を維持することが重要であるため。</p> <p> <input type="radio"/> ある  <input checked="" type="radio"/> なし </p> <p>理由根拠</p>

事業名：私道除雪補助金

土木事務所雪対策課

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果及び指標						
対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
一般通行の用に供する私道						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	私道除雪申請延長	km	1.54	1.54	1.52	1.52
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）						
自治会が行う私道除雪について、市が算定する補助基準額の2分の1以内の額を自治会に補助する。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	補助金額	千円	976	1,032	1,026	1,315
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
私道における冬期間の交通確保を図る。						
指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	私道除雪延長	km	1.54	1.54	1.52	1.52
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	976	1,032	1,026	1,315
正職員人件費 (B)		千円	381	384	381	380
総事業費 (A+B)		千円	1,357	1,416	1,407	1,695

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・私道除雪補助金10自治会 L=1.52km	・私道除雪補助金	1,026千円

<b>事業開始背景</b>
私道の冬期間の交通確保を図ることを目的に制定した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
一般に利用されている私道について、冬期間の交通確保のため実施されている。

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>	
<b>成果動向及び原因分析</b>	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？
上がっている <b>どちらかといえば上がっている</b> 上がっていない	理由根拠 申請延長を完遂しているため。
<b>成果向上余地</b>	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？
成果向上余地 大 成果向上余地 中 <b>成果向上余地 小</b>	理由根拠 関連地域に浸透しており、現状維持となるため。
<b>コスト</b>	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？
ある <b>なし</b>	理由根拠 制度設計上、既にコストを最低限とする内容となっているため。

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成17年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市道延長	km	835	837	837	837
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

市道に不法投棄された投棄物について、巡回を行い処理する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	巡回回数	回	12	12	12	12
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

不法投棄物を処理することにより、道路の機能及び景観を維持するとともに、さらなる不法投棄発生を抑制する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	不法投棄物延べ処理件数	件	213	293	295	300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	3,502	4,400	4,400	4,400
正職員人件費 (B)		千円	763	769	381	380
総事業費 (A+B)		千円	4,265	5,169	4,781	4,780

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	市内一円の巡回を行い不法投棄物の回収、運搬、処理を行う。	不法投棄対策業務	4,400 千円

<b>事業開始背景</b>
市の家庭系ごみの収集が平成16年10月より原則有料となり、不法投棄が増加すると予想されることから、その対策として実施してきたもの。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
家庭系ごみの有料化や家電製品等のリサイクル料金の発生など不法投棄の誘因が増加している。

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>						
<b>成果動向及び原因分析</b>	<p>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">定期的巡回を行い、不法投棄物を適切に処理することにより、安全で快適な道路環境を維持している。</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば上がっている</td> </tr> <tr> <td>上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	定期的巡回を行い、不法投棄物を適切に処理することにより、安全で快適な道路環境を維持している。	どちらかといえば上がっている	上がっていない
上がっている	理由 根拠	定期的巡回を行い、不法投棄物を適切に処理することにより、安全で快適な道路環境を維持している。				
どちらかといえば上がっている						
上がっていない						
<b>成果向上余地</b>	<p>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="background-color: #cccccc;">不法投棄禁止に関する啓発活動の拡大や意識の醸成により、不法投棄そのものが減少する余地はある。</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">成果向上余地 中</td> </tr> <tr> <td>成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	不法投棄禁止に関する啓発活動の拡大や意識の醸成により、不法投棄そのものが減少する余地はある。	成果向上余地 中	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	不法投棄禁止に関する啓発活動の拡大や意識の醸成により、不法投棄そのものが減少する余地はある。				
成果向上余地 中						
成果向上余地 小						
<b>コスト</b>	<p>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</p> <table border="1"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">ある</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc; text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="background-color: #cccccc;">最低限の巡回回数にするなど、これまでも経費削減に努めてきており、これ以上のコスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td>なし</td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	最低限の巡回回数にするなど、これまでも経費削減に努めてきており、これ以上のコスト削減は難しい。	なし	
ある	理由 根拠	最低限の巡回回数にするなど、これまでも経費削減に努めてきており、これ以上のコスト削減は難しい。				
なし						

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	835	837	837	837
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

老朽化した道路施設の改修や再整備工事

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	実施延長	km	2.6	2.3	3.4	3.5
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち道路の走行性及び安全性を確保し、道路利用者が安心して通行できる道路環境を維持する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	916	724	732	700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	404,476	403,279	363,556	486,304
正職員人件費 (B)		千円	13,729	13,837	13,732	15,204
総事業費 (A+B)		千円	418,205	417,116	377,288	501,508

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事路線現況測量</li> <li>・路面凍上改修工事</li> <li>・農村地区舗装新設工事</li> <li>・再整備工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託費 11,755 千円</li> <li>・工事費 345,999 千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>	
老朽化が進行している道路施設の改修や再整備、未整備路線の道路整備などを行うために事業を開始した。	
<b>事業を取り巻く環境変化</b>	
近年、車社会の発展により、道路の安全に対する市民の関心が高まっており、老朽化した道路施設の改修や再整備、更新が強く望まれている。	

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	<p>理由根拠</p> <p>老朽化した道路施設の改修や再整備、未整備路線の道路整備を実施することで、着実に道路環境の向上が図られている。</p>
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	<p>理由根拠</p> <p>事業規模を増大することにより成果が向上する余地はある。</p>
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <p>なし</p>	<p>理由根拠</p> <p>これまでも経費節減の工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。</p>

事業名：道路橋梁管理経費（経常）

土木事務所道路管理課維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	市道総延長	km	835	837	837	837
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、手法）

道路施設の維持及び損傷箇所の補修や復旧対応

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	市道管理延長	km	835	837	837	837
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

道路施設を常に良好な状態に保ち、道路の走行性及び安全性を確保し、道路利用者が安心して通行できる道路環境を維持する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	道路維持管理上の不具合件数	件	916	724	732	700
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	146,794	146,274	149,977	153,000
正職員人件費 (B)		千円	9,534	9,609	8,392	8,362
総事業費 (A+B)		千円	156,328	155,883	158,369	161,362

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面清掃業務委託</li> <li>幹線道路草刈業務委託</li> <li>道路維持業務委託</li> <li>舗装補修工事</li> <li>補充用砂利、舗装補修用常温合材の購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託費</li> <li>工事費</li> <li>原材料費</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>58,999 千円</li> <li>73,999 千円</li> <li>16,977 千円</li> </ul>

<b>事業開始背景</b>
安全な道路環境を維持するため、パトロールや清掃、損傷箇所の補修を行う必要があることから事業を開始した。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
老朽化が進行した道路施設の補修や修繕の要望が増加している。

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>						
(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？						
成果動向及び原因分析	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">上がっている</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">市内一円で道路施設の老朽化が進行していることから、緊急性や優先度を見極めながら限られた予算の中で道路の安全性の確保に努めている。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>どちらかといえば上がっている</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">上がっていない</td> </tr> </table>	上がっている	理由 根拠	市内一円で道路施設の老朽化が進行していることから、緊急性や優先度を見極めながら限られた予算の中で道路の安全性の確保に努めている。	<b>どちらかといえば上がっている</b>	上がっていない
上がっている	理由 根拠	市内一円で道路施設の老朽化が進行していることから、緊急性や優先度を見極めながら限られた予算の中で道路の安全性の確保に努めている。				
<b>どちらかといえば上がっている</b>						
上がっていない						
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？						
成果向上余地	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">成果向上余地 大</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">事業規模を増大することにより成果が向上する余地はある。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>成果向上余地 中</b></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">成果向上余地 小</td> </tr> </table>	成果向上余地 大	理由 根拠	事業規模を増大することにより成果が向上する余地はある。	<b>成果向上余地 中</b>	成果向上余地 小
成果向上余地 大	理由 根拠	事業規模を増大することにより成果が向上する余地はある。				
<b>成果向上余地 中</b>						
成果向上余地 小						
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？						
コスト	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%; text-align: center;">ある</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">理由 根拠</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">これまでも経費節減の工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><b>なし</b></td> </tr> </table>	ある	理由 根拠	これまでも経費節減の工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。	<b>なし</b>	
ある	理由 根拠	これまでも経費節減の工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。				
<b>なし</b>						

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

路面融雪施設

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	ロードヒーティング延長	m	1,169.2	1,416.6	1,416.6	1,388.2
対象指標 2	ロードヒーティング面積	m <sup>2</sup>	6,606.5	7,812.8	7,812.8	7,651.7

手段（事務事業の内容、手法）

冬期間において巡回、点検を実施し、正常に作動しているかの確認を行う。  
更新計画を策定し老朽化した施設の更新を図り、効率的な運用を目指す。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	巡回・点検回数	回	16	16	16	16
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

ロードヒーティングの適切な維持管理により冬期間の安全で円滑な交通を確保する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	管理上の不具合件数	件	4	6	5	0
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	34,129	38,668	40,644	40,129
正職員人件費 (B)		千円	763	769	763	760
総事業費 (A+B)		千円	34,892	39,437	41,407	40,889

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費</li> <li>施設等修繕</li> <li>点検業務委託</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費 30,973 千円</li> <li>施設等修繕費 8,912 千円</li> <li>委託費 724 千円</li> </ul>	

<b>事業開始背景</b>
平成3年度からのスパイクタイヤ使用禁止に伴い、道路勾配の急な交差点における交通安全の確保のため事業が開始された。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
スタッドレスタイヤの性能向上に伴い、電気料金節約のため緩勾配箇所などでロードヒーティングを稼働しない自治体が出てきている。

<b>令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
	上がっている <b>どちらかといえば上がっている</b> 上がっていない	理由根拠 ロードヒーティング敷設箇所の安全性は確保されており、一定の成果が上がっている。
	<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
成果向上余地	成果向上余地 大 成果向上余地 中 <b>成果向上余地 小</b>	理由根拠 ロードヒーティング敷設箇所の安全性は確保されており、これ以上の向上の余地はない。
コスト	<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
	ある <b>なし</b>	理由根拠 これまでも経費節約のため工夫を重ねてきており、これ以上のコスト削減は難しい。

事業名：橋梁長寿命化事業

土木事務所道路管理課維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市道の橋梁

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	橋梁（市道）	橋	147	147	147	147
対象指標 2	修繕が必要な橋梁数	橋	38	38	38	38

手段（事務事業の内容、手法）

- ・江別市橋梁長寿命化修繕計画（平成25年2月19日策定）に基づき修繕工事を実施する。
- ・事業の進め方については、5年を目途に定期点検を実施し、工事の優先度を検証することにより、効率的かつ効果的に計画を進める。
- ・道路メンテナンス事業補助制度を活用し実施する。（補助率：6/10）

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	当該年度修繕対象橋梁数	橋	5	1	2	6
活動指標 2						

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

計画的な予防修繕により橋梁の延命化（長寿命化）を図ることで、修繕費用等を縮減する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	修繕工事が完了した橋梁の割合	%	34.2	36.8	42.1	57.9
成果指標 2						

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	101,067	123,715	200,863	187,000
正職員人件費 (B)		千円	6,864	7,687	7,629	9,122
総事業費 (A+B)		千円	107,931	131,402	208,492	196,122

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁定期点検委託</li> <li>・橋梁撤去工事実施設計委託</li> <li>・橋梁修繕等工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋梁定期点検委託 35,013 千円</li> <li>・橋梁撤去工事実施設計委託 7,975 千円</li> <li>・橋梁修繕等工事 148,049 千円</li> </ul>	

**事業開始背景**

江別市が管理する橋梁147橋のうち、江別市が大きく発展した1970年～1990年代に建設された橋梁が129橋で、全体の80%以上を占めており、20年後には建設後50年を経過する橋梁の割合が50%を超え、老朽化した橋梁の急速な増大が予想される。  
このため老朽化対策やコスト縮減への取組みとして江別市橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的な橋梁修繕に着手することとした。

**事業を取り巻く環境変化**

- ・長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱（平成19年4月2日国土交通省施行）
- ・市町村を対象とした長寿命化修繕計画策定費の支援は、平成19年度～平成25年度
- ・当該計画に基づく修繕工事は、国の補助事業導入が可能となる。
- ・道路法施行規則の一部改正に基づき実施した橋梁点検結果を踏まえ、平成35年度までに修繕が必要な橋梁数を46橋から38橋に変更。

**令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	上がっている <b>どちらかといえば上がっている</b> 上がっていない	理由根拠 概ね計画に沿って事業が進捗しているため。
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	成果向上余地 大 <b>成果向上余地 中</b> 成果向上余地 小	理由根拠 国の補助事業制度を活用し、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	ある <b>なし</b>	理由根拠 国の補助事業制度を活用するとともに、北海道土木積算システムの導入などにより、事務処理の効率化、迅速化を図っており、これ以上のコスト削減は難しい。

事業名：道路施設再整備事業

【事業番号 6152】  
土木事務所道路管理課維持係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成26年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

道路施設全般

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	道路施設数	箇所	212	212	212	212
対象指標 2	対象道路延長	km	247	247	247	247

手段（事務事業の内容、手法）

道路ストック総点検事業により路面性状調査を行い、その結果をもとに舗装の適切な修繕を実施する。社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率：6/10）

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	道路施設点検件数	箇所	0	0	2	0
活動指標 2	道路路面調査延長	km	0	0	247	0

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

老朽化する道路施設全般について点検を実施し、落下、倒壊等の恐れのあるものは改修や修繕等を行い道路利用者や第三者への被害を防止する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	改修、修繕箇所数	箇所	1	0	0	5
成果指標 2	改修、修繕延長	km	3	2.5	1.5	0.9

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	155,064	83,354	129,803	212,000
正職員人件費 (B)		千円	7,627	4,612	7,629	6,082
総事業費 (A+B)		千円	162,691	87,966	137,432	218,082

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面性状調査委託</li> <li>大型構造物定期点検委託</li> <li>舗装修繕工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>委託費</li> <li>工事費</li> </ul>	15,861 千円 113,941 千円

<b>事業開始背景</b>
道路ストック点検等の法定点検が義務化され、その結果により、修繕、更新を行うため事業が開始された。
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
年々老朽化が進行し、対象となる道路施設や路線が増加する傾向にある。

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>	
<b>(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？</b>	
<b>成果動向及び原因分析</b> 上がっている <b>どちらかといえば上がっている</b> 上がっていない	<b>理由根拠</b> 点検結果に基づき概ね計画に沿って事業が進捗しているため。
<b>(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？</b>	
<b>成果向上余地</b> 成果向上余地 大 <b>成果向上余地 中</b> 成果向上余地 小	<b>理由根拠</b> 国の交付金事業を活用し、概ね計画に沿って事業が進捗しているため。
<b>(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？</b>	
<b>コスト</b> ある <b>なし</b>	<b>理由根拠</b> これまで国の社会資本整備総合交付金（補助率：6/10）を活用し事業を実施してきており、これ以上のコスト削減は難しい。

事業名：道路橋梁再整備事業

【事業番号 6173】  
都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成27年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち再整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	0.36	1.05	1.67	1.06
対象指標 2	事業路線数	路線	1	1	3	3

手段（事務事業の内容、手法）

- ・経年劣化などにより損傷した路線について、道路改良や舗装新設などの必要な再整備を実施する。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10）

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.05	0.61	0.88	0.54
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	1	1	3	3

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・損傷した路線の再整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な通行環境を確保する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.36	0.61	1.49	0.8
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	1	0	2	2

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	12,188	60,225	121,644	94,150
正職員人件費 (B)		千円	3,051	6,918	8,392	8,362
総事業費 (A+B)		千円	15,239	67,143	130,036	102,512

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・早苗別道路舗装修繕工事	・早苗別道路舗装修繕工事	38,384千円
	・野幌町37号道路改修工事	・野幌町37号道路改修工事	43,329千円
	・元江別178号道路改修工事	・元江別178号道路改修工事	39,578千円

<b>事業開始背景</b>
<p>中心市街地と住宅地を連結する重要な幹線道路において、冬期間の凍上や老朽化等により悪化した路面状況が、車両等の通行に支障となっていることから、安全・快適な通行環境を確保する取り組みとして再整備事業に着手することとなった。</p>
<b>事業を取り巻く環境変化</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>路面性状調査等の結果により、国の補助事業導入が可能な場合がある。</li> </ul>

<b>令和 2年度の実績による担当課の評価（令和 3年度7月時点）</b>		
成果動向及び原因分析	(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？	
	<p>上がっている</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>どちらかといえば上がっている</p> <p>上がっていない</p>	理由根拠
	<p>社会資本整備総合交付金を活用し、概ね予定どおり事業が進捗している。</p>	
成果向上余地	(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？	
	<p>成果向上余地 大</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>成果向上余地 中</p> <p>成果向上余地 小</p>	理由根拠
	<p>社会資本整備総合交付金の配分額により、事業が進捗する余地はある。</p>	
コスト	(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？	
	<p>ある</p> <hr style="border: 2px solid black;"/> <p>なし</p>	理由根拠
	<p>社会資本整備総合交付金を活用するとともに、北海道土木積算システムの導入により事務処理の効率化を図っており、更なるコスト削減は難しい。</p>	

事業名：道路橋梁新設改築事業

【事業番号 6211】  
都市建設課 道路整備係

政策	05 都市基盤			戦略					
取組の基本方針	02 交通環境の充実			具体的施策					
開始年度	平成28年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

事務事業の目的と成果及び指標

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が管理する道路のうち整備が必要な幹線道路等

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
対象指標 1	事業路線の全体整備延長	km	0.84	0.47	2.84	2.84
対象指標 2	事業路線数	路線	2	1	4	4

手段（事務事業の内容、手法）

- ・幹線道路等について、新設のほか拡幅や歩道造成などの必要な整備を行う。
- ・社会資本整備総合交付金を活用し実施する。（補助率6/10、新設は5/10）

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
活動指標 1	当該年度の工事延長	km	0.16	0	0	0.93
活動指標 2	当該年度の実施路線数	路線	2	1	4	4

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・幹線道路等の必要な整備を行い、車両や歩行者の安全で快適な通行環境を確保する。

指標名		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
成果指標 1	事業路線のうち整備済みの道路延長	km	0.37	0	0	0.73
成果指標 2	事業路線のうち整備が完了した路線数	路線	1	0	0	0

事業費の推移		単位	30年度実績	元年度実績	2年度実績	3年度当初
事業費 (A)		千円	75,219	32,469	120,937	473,342
正職員人件費 (B)		千円	6,102	6,150	12,206	12,163
総事業費 (A+B)		千円	81,321	38,619	133,143	485,505

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
2年度	・元江別66号道路 用地取得・物件補償	・元江別66号道路 用地取得・物件補償	34,403千円
	・兵村4丁目通 測量等	・兵村4丁目通 測量等	5,335千円
	・兵村4丁目通 物件調査	・兵村4丁目通 物件調査	4,664千円
	・兵村4丁目通 用地取得・物件補償	・兵村4丁目通 用地取得・物件補償	11,155千円
	・元江別中央通 測量等	・元江別中央通 測量等	6,950千円
	・大麻駅跨線人道橋実施設計	・大麻駅跨線人道橋実施設計	57,981千円

**事業開始背景**

市内を東西に走る生活幹線道路（通称、百間境道路）については、総延長が約10kmあり、幹線道路を補う重要な路線として位置づけられて整備が進められてきたが、近年は用地や財源の問題などにより、3路線約0.9kmが未整備のまま残されており、地元自治会からは早期の整備要望が寄せられていた。  
平成28年3月、野幌住吉町内の私道路について寄付採納により市道となったことで、元野幌274号道路については、補助事業での整備が可能となり事業着手することとなった。

**事業を取り巻く環境変化**

平成26年 4月 元江別66号道路の整備要望が、自治会より寄せられる。  
平成26年10月 元江別66号道路の整備について、沿線住民に意向調査を実施。  
平成28年 3月 元野幌274号道路に接続する私道路が、寄付採納により市道となり、補助事業での整備が可能となる。

**令和2年度の実績による担当課の評価（令和3年度7月時点）**

(1) 計画どおりに成果指標は上がっていますか？成果指標が上がっている理由、上がっていない理由は何ですか？		
成果動向及び原因分析	<input checked="" type="checkbox"/> 上がっている <input type="checkbox"/> どちらかといえば上がっている <input type="checkbox"/> 上がっていない	理由根拠
	社会資本整備総合交付金を活用し、概ね予定どおり事業が進捗している。	
(2) 成果指標が向上する余地（可能性）はありますか？その理由は何ですか？		
成果向上余地	<input type="checkbox"/> 成果向上余地 大 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上余地 中 <input type="checkbox"/> 成果向上余地 小	理由根拠
	社会資本整備総合交付金の配分額により、事業が進捗する余地はある。	
(3) 成果指標を落とさずに、コスト（予算や所要時間）を削減する方法はありませんか？		
コスト	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> なし	理由根拠
	社会資本整備総合交付金を活用するとともに、北海道土木積算システムの導入により事務処理の効率化を図っており、更なるコスト削減は難しい。	